

助成番号

2019 年度 特別重点研究助成実施状況報告書

2020 年 4 月 3 日

学 長 殿

研 究	所属・職	中部地方産業研究所・所員
代表者	氏 名	阿部 聖

研究課題 南海トラフ大地震を見すえた自然大災害と地域連携を踏まえた大学BCPの総合的研究

研究の中心となる
研究所 中部地方産業研究所

研究実施状況の概要

研究成果の公表、学内・学外機関による評価の実施、外部資金獲得への取り組み状況等についても記述してください。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、2019 年度実施予定の研究活動のうち、2 月末から 3 月末に実施予定であった 3 事業（中間報告会（2/29）、災害時シミュレーション実験（3/10～12）、熊本調査（3/3～5））を 2020 年度に延期とした。2020 年度実施のために必要な予算については、「新型コロナウイルスの影響に伴う 2019 年度予算次年度繰越申請書」を提出する。

その他、2019 年度に実施した研究活動は以下のとおり。

①現地調査

文献研究として、大学BCP に関する先行研究の収集・検討、他大学のBCP の整備状況とその内容、東日本大震災に際しての各大学の被害状況と安否確認、入試などの実施状況について調査を行った。

自然災害等による復旧・復興の現状、地域と避難民との関係および大学の役割について、東北大学・東北学院大学・石巻専修大学等を調査した。

徳島県における地域連携型BCP について徳島県庁、地域連携を踏まえた企業型BCP について大塚製薬株式会社を訪問し、ヒアリング調査を行った。

3 月に予定していた熊本調査は新型コロナウイルス感染拡大により、2020 年度に延期。

②豊橋校地周辺地域へのアンケート調査

豊橋校地が立地する栄校区住民を対象とした災害における大学と地域の連携に関するアンケート調査を実施した（回答数：2,441）。

③報告書の作成

2017～2019 年度の研究成果をとりまとめた中間報告書を作成する（2020 年 10 月末予定）。刊行の際は、中産研構成員（所員・客員所員・研究員・補助研究員）と公共図書館、大学図書館等へ配布し、学内外へその成果を公表する予定としている。学内の事務部署へは回覧にて情報提供および公表を行う。

また、中産研刊行『年報・中部の経済と社会 2019 年版』に 2019 年度研究内容の概要を掲載した。

④中産研運営委員による内部評価を受ける。

⑤外部講師を招聘した研究会の開催

井上春樹静岡大学名誉教授を講師に迎え、大学内における情報システムのBCP に関する研究会を開催した（10 月 15 日（火））。

⑥災害時シミュレーション実験

災害時を想定した宿泊型実験（2 泊 3 日：3 月 10 日（火）～12 日（木））は、新型コロナウイルス感染拡大により、2020 年度に実施延期。

⑦中間報告会

2 月 29 日（土）に開催予定の中間報告会は、新型コロナウイルス感染拡大により、2020 年度に延期。